



令和8年度版

家庭学習の手引き

家庭学習の効果について

- ① 習ったことを忘れない
学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ります。
- ② 脳が発達する
読み・書き・計算などの反復練習を続けることにより、脳が活性化します。
- ③ 学ぶ習慣が身につく
毎日欠かさず家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。
- ④ ゲームやネットに負けない子になる
ゲームなどの誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ・根気・集中力が身につきます。
- ⑤ 家族のふれあいができる
家族とふれあう機会が増え、心身ともに健康に育ち、自信とやる気を深めます。

各家庭
保存版

令和8年度版「家庭学習の手引き」は学校HPからもご確認いただけます。

小樽市立高島小学校



進んで学ぶ子どもをめざし

- » 「早寝早起き」「朝食をたべる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。
- » 子どもの学習に目を向け、「必要な声かけや見届け（点検）」を行いましょう。また、ねばり強く努力する姿を褒めてあげましょう。
- » テレビを見ながら（おやつを食べながら）の「～ながら勉強」はやめましょう。家庭学習のめやす時間は、「学年×10分」です。
- » パソコンやスマートフォンなどは役立つ道具ですが、危険性もあります。ルールを守らせ、家族の目の届くところで使わせましょう。
- » 分からないことや困ったことは、遠慮せずに学校に相談しましょう。



おたるスマート7 《インターネット利用に関する小樽市のルール》

〈児童の4つの約束〉

- 1日1時間以内とし、夜9時以降は使用しません。
- 送る前に内容を確認し、相手の嫌がることや悪口は書きません。
- 名前や顔写真などの個人情報は、公開しません。
- 困ったときは、必ず保護者や先生など大人に相談します。

〈保護者の3つの約束〉

- 子どもとの会話を大切にし、どんな使用をしているのか確認します。
- 約束の時間が守られているのか確認します。
- 子どもを有害サイトから守るため、フィルタリングを設定します。



高島小スマート1 (ONE)

ネット社会において、大切なお子さんの
安心・安全を守るために
高島小学校PTA

O : お子さんが
N : ネット社会で
E : いい笑顔

高島小学校PTAでは、市内及び全道、全国でも散見される「スマートフォン」や「通信機能付ゲーム機」などによる子どもたちのトラブルや命に関わる事件等を未然に防ぐことを目的として、保護者の皆さんのアンケート結果を参考に、高島小学校の子どもたち誰一人悲しい思いをさせない、そして、笑顔いっぱいの学校生活にさせたいという思いから、「高島小スマート1 (ONE)」を作成しました。

ご家庭と学校、地域が連携し、ネット社会において、
大切なお子さんの安心・安全を守るために、「おたるスマート7」
と合わせてご家庭でのご協力をよろしくお願いします！

1日1回、お子さんが使用している
「スマートフォン」や「ゲーム機」等の
使用状況を確認しましょう！





クロームブックを 学校やいえで つかう ときの やくそくごと

小樽市立高島小学校



クロームブックを大切につかうためのやくそく

○つかうときは 先生の しじを きき

学しゅう もくてきで つかうこと

※がくしゅうに かんけいのない

アプリの しょうやどうかのしちょうはできません！

○クロームブックの 上や 下にものを おかないように

○クロームブックを おとしたり ぬらさないように

○クロームブックを ほかにの人に かしたり

つかわせたりしないように

○クロームブックのしよきせっていやはいけいを

こじんでへんこうしないようにしよう



R8?

○クロームブックの QR コードは **たいせつに** ほかんしよう

(QR コードは 6 年間つかい 中学校へ持っています)

※なくしたときは、すぐにせんせいにほうこくしよう

けんこうに 学しゅうするために

○正しい しせいで かお から

ーていの きよりをとってつかう。

○30ふんに 1かいは 20びょういじょう とおくのけしきを
みて 目を やすめる

○かていでしようするときは

ねる！じかんまえのりようは しない！



ネットから 自分を まもるため

○名まえや じゅうしょ でんわばんごう

しゃしんや どうかなどの こ人じょう

ほうを ネット上に こうかいしない



○がくしゅうに かんけいの
ない サイトには アクセス
しない

○がくしゅうもくてきいがいのもくてき
や 本人に おきよかて しゃしんを
とらない

○ かきこむ ないように ちゅういする
ひぼう 中しょうはばっせられる
ようになりました



クロームバックは火よう日と水よう日に
おうちにもちかえるようになりました。

ドリルにしっかりととりくもう。



これらの ことに きをつけて
たたく クロームブックを つかいましょう！

家庭学習の基本

【宿題】

ほぼ**毎日**、**プリントや音読などの宿題**が出されます。

忘れずに・正しく取り組むことができているか確認しましょう。

・・・宿題・・・〈国語〉漢字プリント（鬼漢字など）、日記、短文づくり
音読（音読カードを毎日提出）など



〈算数〉 計算プリント など

クロームブック持ち帰りの際には、クロームブックないでの宿題



【自主学習】

宿題が終わったら「**自主学習**」にも積極的に取り組ませましょう。

・・・自主学習・・・〈国語〉 音読、新出漢字・鬼漢字、読書など

〈算数〉 計算練習など

〈その他〉学習の予習、その日の復習、調べ学習、日記

市販ドリル、楽器の練習、鉄棒の練習など



家庭学習時間のめやす

1年生 20分

2年生 20分+10分

3年生 30分+10分

4年生 40分+10分

5年生 50分+10分

6年生 60分+10分

小学校1・2年の家庭学習

～とにかく「学習習慣」を！～

家庭学習重点 1年 2年

◆育ちや学びについて

- ・「**早寝早起き**」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身につけるには、家族の協力が必要です。
- ・生活習慣が身につくと学習の習慣も身につきます。**子ども一人で学習の時間や内容などを決めることは難しい**ため、家庭での声かけや点検が欠かせません。
- ・「がんばったね!」「よくできたね!」などの褒め言葉が、子どもの意欲を高めます。
- ・学習が終わったら、次の日の**学習用具の準備**をすることを習慣化し、忘れ物をなくし学習に対する姿勢を整えます。
(えんぴつは毎日、削り整えることは大切です。)
- ・お手伝いの中から、学習に役立つ事がいっぱいあります。



◆学習について

- ・「読み、書き、計算」など**繰り返し学習**することで、確実に力がついていきます。
- ・「正しい姿勢で座る」「正しく鉛筆を持つ」「明日の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが**学習の基本**です。
- ・家庭学習を始める前に、テレビや音楽は消しましょう。
- ・学校から出された宿題や課題の内容を、子どもと一緒に確かめましょう。また、子どもが家庭学習や音読練習に取り組んでいるときは、なるべく近くにいてあげましょう。



国 語

- 【音読】
 - ・しっかり声に出して読めるようにしましょう。
 - ・句読点（「、」「。」）に気をつけて読む練習をしましょう。
- 【漢字】
 - ・毎日音読する習慣を身につけましょう。（音読カード）
 - ・正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
 - ・「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて書く練習をしましょう。
- 【読書】
 - ・いろいろな種類の本を読みましょう。
 - ・本の読み聞かせをしてあげましょう。



算 数

- ・まずはゆっくり正確に計算できるようにしましょう。
- ・正確に計算できるようになったら、速く計算できるようにしましょう。
- ・間違った問題は、必ず見直して、その日のうちにもう一度やり直しましょう。

その他

- ・自分の言葉で絵日記や作文を書くこともよい勉強です。
- ・動植物のお世話や観察も大切な学びです。
- ・鍵盤ハーモニカや鉄棒などの練習に取り組むのもよい学習です。
- ・いろいろな生活経験、体験をすることも学習の糧となります。

低学年は、家庭での様々な「生活経験の積み重ね」が大切です！

小学校3・4年の家庭学習

～自主的な「学習習慣」を！～

家庭学習重点 3年 4年

◆育ちや学びについて

- ・ 自立心が芽生え、行動範囲も広がり、自分で色々なことをやろうとしますが、まだ大人の手助けが必要です。
- ・ みんなと行動することを好むようになります。また、反抗的な言動も見られます。
- ・ 言葉を習得する能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになります。
- ・ 「やる気」や「根気」が育つ時期です。家族の温かい言葉や励ましが、子どもの意欲をさらに高めます。

◆学習について

- ・ 国語辞典や地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習が多くなり、自学自習の基礎を身につけます。
- ・ 社会や理科、外国語、総合的な学習の時間など、学習内容の幅が大きく広がります。
- ・ 四則計算の基礎を徹底して学ぶとともに、分数や小数などの抽象的な内容の学習も少しずつ増えていきます
- ・ 学校から出された宿題や課題の内容を、子どもと一緒に確かめ、徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- ・ 家庭学習ノートをつくり自主学習に取り組む



国語

- 【音読】
 - ・ 1つ1つの言葉を大切に、読めるようにしましょう。
 - ・ 文章を正確に読み取ることができるようにしましょう。
 - ・ 毎日音読する習慣を身につけましょう。（音読カード）
- 【漢字】
 - ・ 正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
 - ・ 「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて書く練習をしましょう。
- 【読書】
 - ・ いろいろな種類の本を読みましょう。
 - ・ 読んだ本の内容や感想を、ノートにまとめてみましょう。



算数

- ・ 正確に計算できるように、毎日練習しましょう。
- ・ 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に使えるようにしましょう。
- ・ 間違った問題は、必ず見直して、もう一度やり直しましょう。

その他

- ・ 興味をもったことを調べてまとめるのもよい勉強です。
- ・ 学校で学習した内容を振り返り、復習するのも大切な学びです。
- ・ リコーダーや鉄棒などの練習に取り組むのもよい学習です。

中学年は、家庭での「温かな言葉や励まし」が大切です！

小学校5・6年の家庭学習

～自学自習の習慣を！～

家庭学習重点 5年 6年

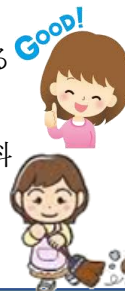


◆育ちや学びについて

- ・ 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になりだす時期です。
- ・ 自分を客観的に見つめたり、友達と比べたりとするようになります。また、考える力も大人並になり、反抗的な言動も見られます。
- ・ 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- ・ 小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な時期です。
- ・ 生活リズムの乱れが出始めます。生活習慣の見直しが大切です。

◆学習について

- ・ 学習内容が多くなり、論理的内容や抽象的な思考をともなう学習が増えます。
- ・ 筋道を立てて考える力や広く物事を見る力が必要になります。
- ・ 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを体験することで、ものの見方や考え方を身につけることができます。
- ・ 「やればできる」という自信を持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、褒めたり励ましたりすることが大切です。
- ・ 家族の一員として、家庭での役割を決めましょう。そして、家庭科で学習した内容を家庭生活の中で実践させましょう。
- ・ 家庭学習ノートをつくり自主学習に取り組む



国 語

- 【音読】
 - ・ 情景を思い浮かべながら読めるようにしましょう。
 - ・ 声の大きさや速さなど、工夫して読めるようにしましょう。
 - ・ 音読カード
- 【漢字】
 - ・ 読めない漢字は、読み方を調べましょう。
 - ・ 漢字の構成や字形を意識して書く練習をしましょう。
 - ・ 漢字を使った短文づくりに取り組みましょう。
- 【読書】
 - ・ いろいろな種類の本を読みましょう。
 - ・ 読んだ本の内容や感想を、ノートにまとめてみましょう。
- 【書く】
 - ・ 日記、短文づくり

算 数

- ・ 正確に計算できるように、毎日練習しましょう。
- ・ よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。
- ・ 答えの確かめは、自分でできるようにしましょう。
- ・ 分からない時は、学習したことを振り返りましょう。

その他

- ・ 興味をもったことを調べてまとめるのもよい勉強です。
- ・ 学校で学習した内容を振り返り、復習するのも大切な学びです。
- ・ 参考書や問題集を使って、いろいろな問題に挑戦させましょう。

高学年は、「中学校を意識して生活」させるとが大切です！